

あなたの夢を、暮らしを応援する住宅情報紙



かふう

毎週金曜日発行

2012.8.3

Vol.357

<http://www.kahu.jp>

沖縄の不動産 かふう 検索

新報リビングニュース



6層構成の 2世帯住宅で 伸び伸び暮らす

目次 こんな家に住みたい
那覇市 Kさん宅

- 5 モデルルームに行こう
シャールレーク南風原津嘉山
- 6 どうする住宅資金
「借りられる金額」と「返せる金額」
- 9 ドキュメント家づくり
極個人的地域情報発信拠点に
泡盛貯蔵のモデルルームも
- 10 お店で発見 快適空間のつくりかた
古民家cafe喜色 -kiiro-
- 11 うちなあ点描 シマの景観にふれる
坂道の情景 崎浜 靖
- 12 ペット
バリリゾートin石垣島/
ただ今、鳥生活満喫中!
- 13 ガーデン 緑の指シリーズ
沖縄を年中、
ランの花盛りにするのが夢
- 19 講演会に行ってきました
クリーン・テクノロジー最前線
アメリカからの報告
- 20 住まいのバリアフリー研究所
予防のためのもう1本
- 22 かふう週報

琉球新報
 発行/琉球新報社
 〒900-8525 沖縄県那覇市天久905
 ☎098-865-5014
 企画・編集・制作/(株)正広コーポレーション
 〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅1-11-9
 ☎098-941-8112
 購読のお申し込み **0120-39-5069**

「かふう」とは、「沖縄語辞典」によれば「果報。幸運(にめぐり合うこと)」とあります。「かふう」であなたの幸せを見つけてください。



撮影・屋比久光史

6層構成の2世帯住宅で 伸び伸び暮らします

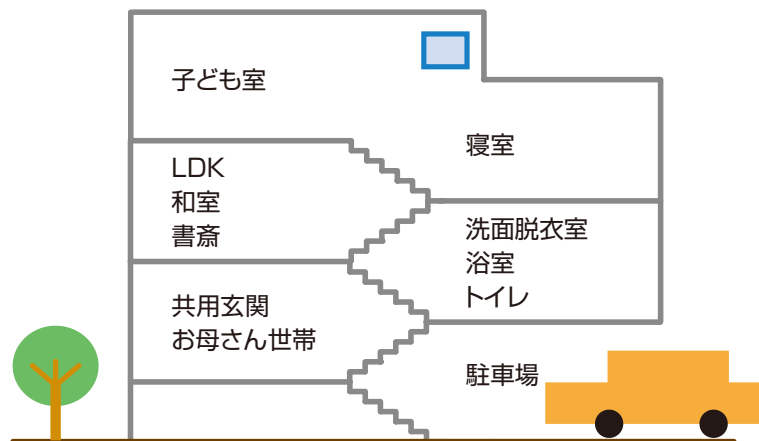
那覇市のKさん宅は、半階すくすくして配置した居室を階段室でつなげるスキップフロアの2世帯住宅です。

予算内でスキップフロアの2世帯住宅を

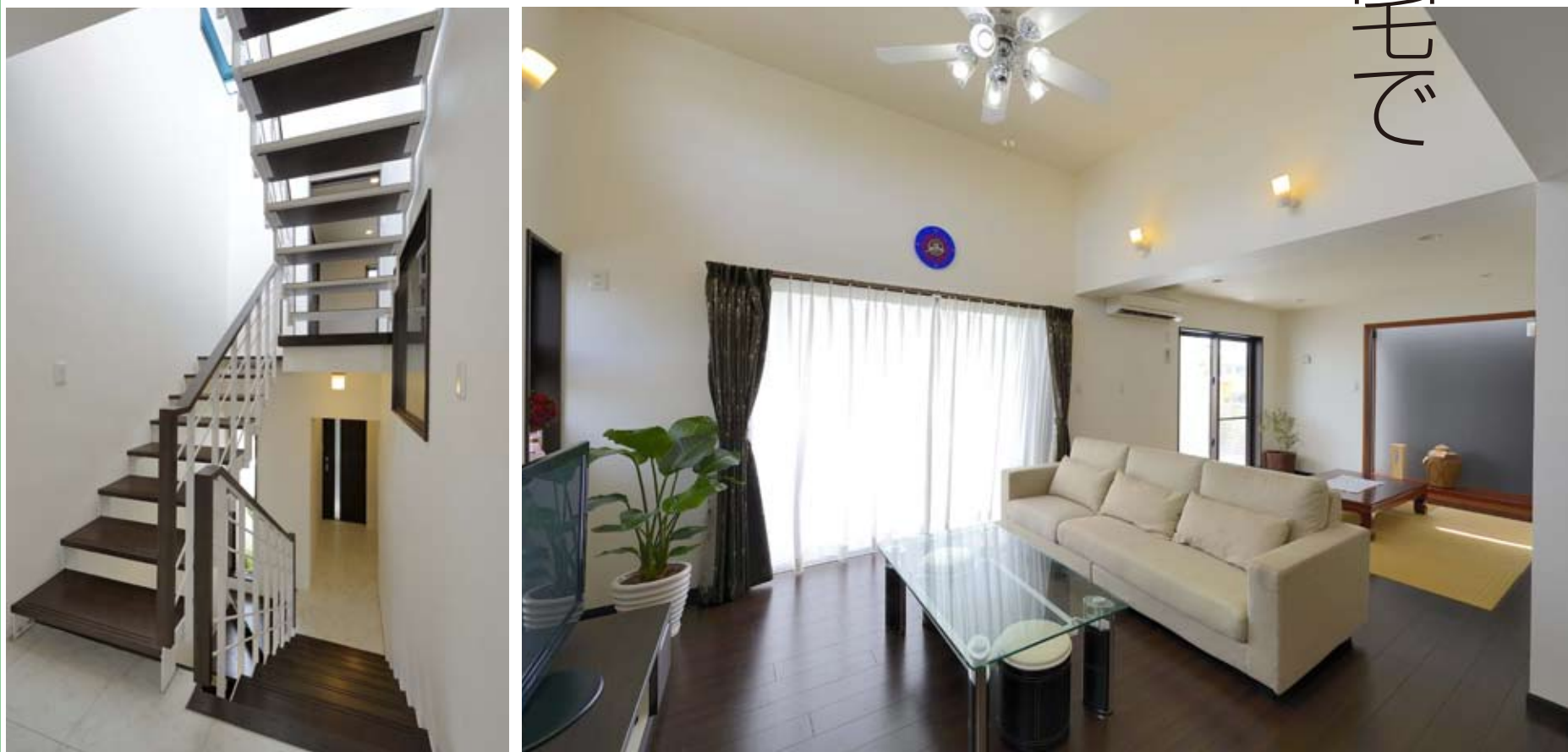
那覇市の昔からある住宅地に建つKさん宅は、3階建ての2世帯住宅です。物心ついたときからアパート暮らしだったというKさんの夢はマイホームを建てることでした。満を持して家づくりに取り組むことになったKさん夫妻は、半階すくすくの高さをずらして居室を配置した「スキップフロア」の2世帯住宅を希望。完成後は、結婚を機に別々に暮らしていたKさんのお母さまを呼び寄せたいと考えていました。

家づくりに当たって、数多くの住宅完成見学会へ足を運んだり、打ち合わせをこなしたりするうちに、凶面も理解できるようになったというKさん夫妻。「でも、素人の私たちには空間を立体的にイメージするのは難しく、建築士さんのアドバイスが大変参考になりました。どんな要望でも必ず受け止めてくれるので意見は言いやすかったですし、限られた予算の中で要望を実現するための方法を一生懸命考えてくださったので、納得のいく家づくりができました」と奥さまは振り返ります。

中古住宅の購入も視野に入れて物件を探すと、何気なく目にした不動産広告で、幼なじみが売りに出している土地を見つけたKさんは購入を検討。「予算内である上に、そこは幼い頃から慣れ親しんできた地域。建築士さんは希望通りの家が建つと太鼓判を押してくださり、安心して購入することができました」と言います。



玄関ポーチの土間はコンクリートカーペット仕上げ。敷地の高低差を生かしているため、駐車場側にはアプローチ階段があります玄関ポーチの土間はコンクリートカーペット仕上げ。敷地の高低差を生かしている

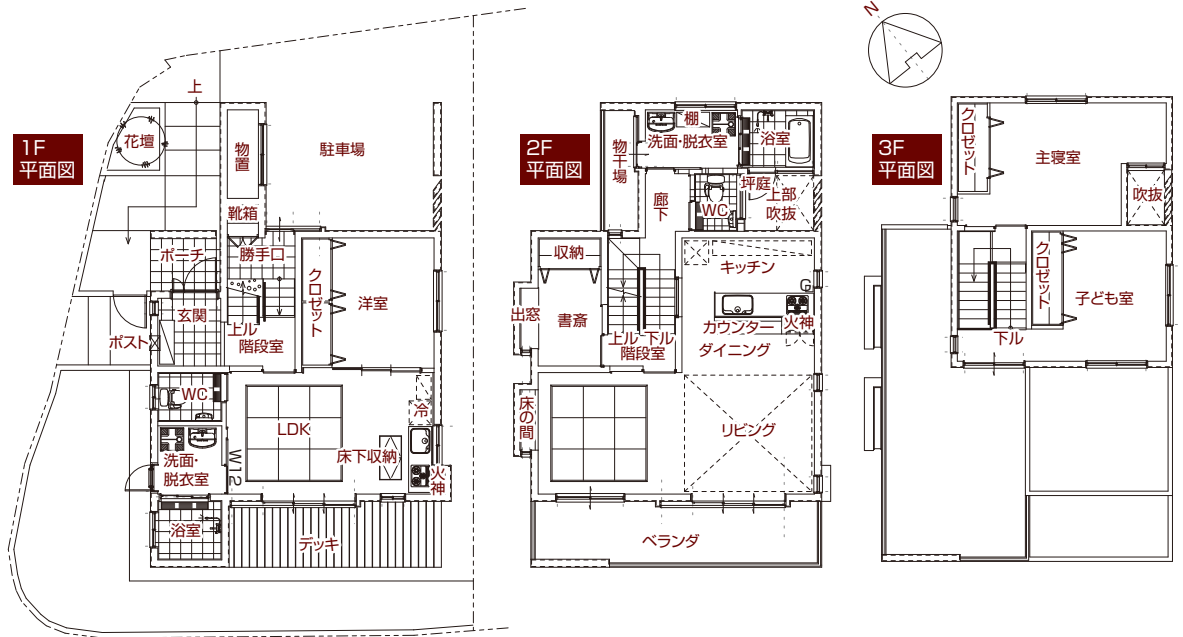
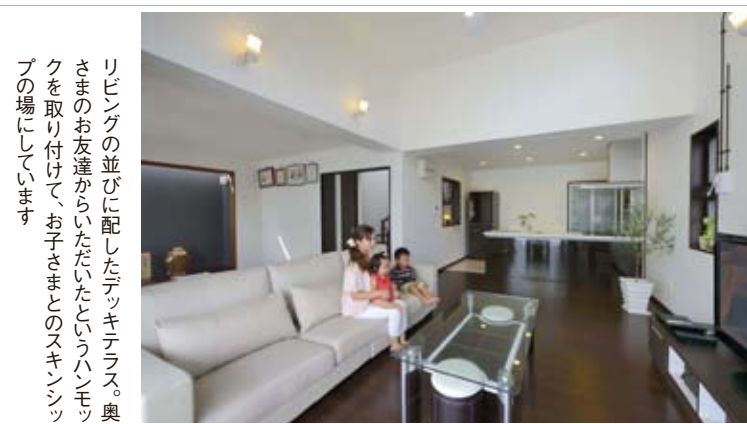


階段室を介して親子世帯がつながる

Kさん宅は、1階にお母さま世帯、その上にKさん世帯を配して、両世帯で玄関と階段室を共有するタイプの2世帯住宅です。1階のお母さま世帯は、LDKと寝室、水回りを配したコンパクトな造り。内部はもちろんバリアフリーとなっており、趣味のガーデニングや家庭菜園を楽しめるように、LDKの掃き出し窓の先にデッキテラスが設けられています。「孫たちが遊びに来てくれるので、毎日充実しています」とお母さまは目を細めて話します。

一方のKさん世帯は、1階から半階上がった位置に水回り、さらに半階上にLDKと和室、書斎が配され、寝室、子ども室もそれぞれ半階上にずらした位置にあります。各居室をつなげるのは、1階から最上階まで延びた鉄骨造の階段です。奥さまはスキップフロアになったマイホームの住み心地を「ほかの部屋へ移動は、半階のみを登り降りするだけなので全く苦になりません。階段を介して親子世帯がつながっているという安心感がいいですね。子どもたちもおばあちゃんのところへ自由に行き来できて楽しそうです」と話します。

和室よりもメートルほど天井を高くしたほか、ベランダに面した開口部には壁戸を設置して、伸びやかな家族団らんの間をつくり出しています。「この窓から見えるあの池でよく遊んだものです」と話すKさん。思い出の地にマイホームを建て、家族の歴史を新たに刻み始めたその表情から、家族への深い愛情が伝わってきました。



家族構成：母、夫婦、子ども2人
所在地：那覇市
設計：(株)STG企画室
当山邦貴、久場良国
敷地面積：181.18㎡(54.8坪)
建築面積：87.05㎡(26.33坪)
延床面積：187.21㎡(56.33坪)
用途地域：第1種低層住居専用地域
構造：壁式鉄筋コンクリート造
完成時期：2012年
●建築／(株)STG企画室、(有)志茂建設

1. 玄関ホールの大きなFIX窓はKさんのこだわりの一つ。光庭としての役割を持つテラスには、格子状の壁を設置
2. 天窓から光を取り込んだ独立型キッチン
3. オリジナルのキッチンシステムは扉や引き出しを極力省いてコスト削減につなげています
4. グレーをアクセントカラーにした寝室。掃き出し窓の向こうに見えるのはテラスです
5. 現在は客間として使用している洋室。FIX窓と滑り出し窓を組み合わせた開口部
6. 寝室と同様、隣家側の壁には擦りガラスをはめ込んだ丸い穴を等間隔に配置したリビングダイニング



地形を利用した6層構成の3階建て

メリハリのある立体的な空間構成 — 建築士・久場良国さん談

計画前の敷地には約85センチの高低差があり、この高低差は、施主の希望であるスキップフロアの家を建てるのに好条件でした。計画したのは、地形に沿って敷地の一番低い位置に駐車

スペースを配した、6層のフロアで構成した3階建てです。用途地域で定められた高さ制限いっぱい10メートルの階高を確保したほか、道路斜線にかかる規制を天空率（空の見える割合）

（合）を利用することで、上部を斜めに削った建物形状になることを回避しました。2世帯住宅を計画する際に最も配慮すべき点は、世帯同士の距離感であると考えています。Kさん宅は、玄関を完全に分けた「分離型」ではなく、玄関と階段室を共有して両世帯に程よい距離感をつくり出すプランを提案。それぞれの世帯の動線が重ならないよう配慮してゾーニングを行いましたので、階段室に接したドアを閉めていればお互いのプライバシーは守れます。また、鉄骨造の階段は蹴り込み板をなくしたオープンな造りとなり、吹き抜けのような開放的な階段

室になったと思います。ちなみに、この階段室の最上部に掃き出し窓を設けていますが、これは暖まった空気が上昇するという自然の力を利用した「温度差換気」を促すためのもので、この掃き出し窓と一番低い位置にある玄関を開けると、階段室の上部に溜まった暖かい空気が屋外に排出されて、風の流れを生み出すという仕組みです。

Kさん世帯は、リビングは開放感を強調し、和室はおもてなしの空間にふさわしい落ち着いた雰囲気をつくり出すために、リビングの天井高は隣り合わせの和室やダイニングキッチンよりも1メートルほど高くしました。このように空間を立体的に組み合わせる際も、建築コストがかさまないうに構造体の凹凸を利用して計画しており、Kさん宅はコスト以上の効果が得られる、居住性の高い住まいになったと思います。



シンプルな形状の白い建物に、濃いグレーを効果的に配色した外観。建物前面のスペースには碎石を敷設して



右／庭に向かって縁側を配し、擦りガラスをはめ込んだ雪見障子風の建具を設置。外部との連続感が心地よい空間です玄関ホールからパブリックエリアを見る。奥に見えるのは水回りや納戸を配したエリアとなっています
左／テラスから見たプライベートエリア。手前は寝室となっており、廊下を挟んで反対側にもう1部屋とトイレを配していますトイレは小さな空間

こんな家に住みたい 第333回 那覇市 Kさん宅

6層構成の2世帯住宅で伸び伸び暮らす



HOME 家へのコメント

プライバシーに配慮して坪庭を多面的に使う

2階には、トイレと浴室から眺められる坪庭があります。浴室側は大きなガラス面にして、トイレには地窓を設置。坪庭を介して視線が重ならないように工夫しています。もちろん、外壁のスリットは角度がついているので外からの視線は遮られます。グリーンを飾ったり、夜はライトアップするなど坪庭の演出も楽しそうです。



久場良国さん

■(株)STG企画室

浦添市内間4-1-11 ☎098-894-2610